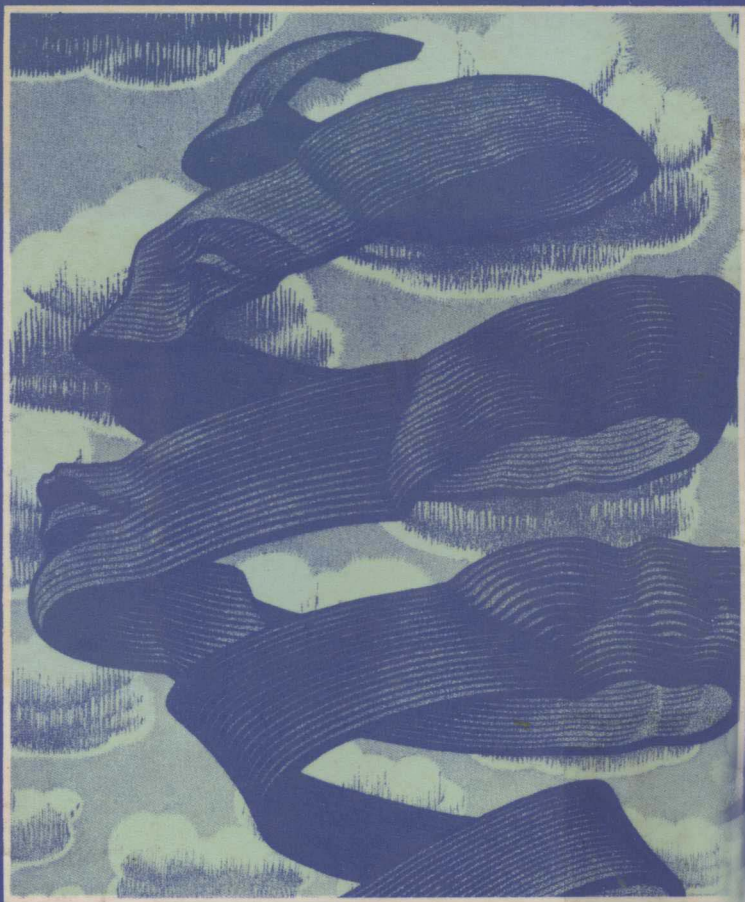


神話午餐

也 斯



洪範文學叢書 ②⑥

神話午餐

洪範
軹書局
印行

版權所有

翻印必究

神話午餐

洪範文學叢書(26)

著者：也

發行人：孫 玫 兒 執行編輯：張 斯

出版者：洪 範 書店有限公司

地址：臺北市林森北路三八〇號七〇七室

臺北市郵政一七一——一七一信箱

電話：五五一三一九・九四一〇三八八

郵政劃撥：一〇七四〇〇二

印刷廠：永 裕 印刷廠

臺北市西昌街一六八號

總經理：爾 雅 出版社

臺北市廈門街一一三巷一二之二二號

初 版：中 華 民 國 六 十 七 年 三 月

登記證：行政院新聞局局版臺業字第一四二五號

法律顧問：陳長文（理 律 法 律 事 務 所）

臺北市敦化北路二〇一號明治大樓七樓

（換掉回寄請，誤錯訂裝、損破、頁缺）

目 次

四	三	三	三	三	三	二	一	一	三	三
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

第一輯：風景

黃色的風景

荔枝石

東平洲

重訪

東涌

寫生

佛塔與十字架

污染的溪水

沒有蜃樓

石洞裏的香火

知本的蝸牛

石也活着

四 三 二 一 五 六 七 八 九 十

盛檳榔的杯子

自然的遊戲

鹿港的黃昏

布袋外的風雨

第二輯：觸覺

早晨和夜

聲音聲音

蒼蠅們

一個幽靜的地方

避雨的故事

一副骨頭

風與卡爾漢寧

假期和雨

二五	二三	二二	一〇八	一〇六	一〇三	一〇二	九八	九六	九四	九三	九〇	八八	八六
在車上	下午五點鐘	夢與現實	屋與路	借來的一夜	某一個中午	玻璃桌面	兩個影子	歌聲與燈	等待	神話午餐	流星雨	一些屋子	一件差使

二七	夏日早晨
二九	鬧鐘和船期之間
三三	去了那裏
三三	風起的時候
三五	既涼又暖的季節
三七	聲音・車廠・「北京人」
三九	車與燈光
三三	沙之城市
三四	玫瑰・鵲鴿・惠特
三六	牆上的脚印
四〇	回暖
四三	棉花路
四四	小雨
四六	蘋果鞋・紙蝴蝶・黃色公共汽車

一五	一五	一五	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

二〇八	二〇六	二〇四	二〇一	一九九	一九七	一九五	一九三	一九一	一九九	一八七	一八五	一八三	一八〇
黃昏	過渡	一塊空地	牛在那兒	霧笛和鳥鳴	精緻的冊子	芋	時光	太陽下山	碰碰車	貼上海報的燈柱	玻璃的寒冷	在風中	秋天

三九	三六	三四	三三	三〇	二八	二六	二四	二三	二〇
攜帶的東西	方言	那黑色的甲蟲	黑扇子	雨路	風景	鬼故事	夜路	幌動	習慣

第一輯
風
景

黃色的風景

黃色。黃色的火警訊號，貼在碼頭的旁邊。

烈日當空，在沒有遮蔭的禿坦的泥沙地上，排着長長兩列候車的人。他們携着累贅的東西，打扮得跟這簡陋的背景有點不調和，手携的收音機傳來奇怪的聲浪。他們在等候。在這一刻，在這海、天和地的交接處，這些人彷彿也成了背景中必然的一部份。

有人在地上擺賣菠蘿；對開那片舖子裏，掛着一條條的鹹魚，所有的鹹魚全用紙包着嘴，它們現在垂直地在一個固定的空間游泳，它們吐出的泡泡成爲一聲窒啞的鹽的回聲。

太陽曬着這幅空地，有個人走進碼頭邊的雜貨舖去，買了一根冰棒。雜貨舖裏堆着數不清的糖果餅食，一個個小包，一盒盒，一疊疊。他走出來，把冰棒的紙套拋進垃圾桶去，在他背後，黃得耀眼的是那張寫着警告的海報。

一輛藍色的和一輛黃色的公共汽車駛來。車上的人下車，在下面候車的人開始營營蠢動。隊

伍逐漸移前，雖說是多日，正午的陽光卻依然非常猛烈。那些衣服穿得太多的遊客們擠在一起，感到頸背上的汗給衣服磨擦得癢癢的。直至他們攀上汽車坐下來，才舒了一口氣。

他們回望外面，在車外，人的隊伍可笑而臃腫地伸展開去，斷了的尾巴又再生長，這是一頭永遠砍不掉尾巴的怪獸，它的名字叫做人。他們的眼光又落在路旁那個賣菠蘿的小童身上。他在一旁懶洋洋地看着這些人，這些事，每個假期例行的秩序；他懶洋洋地揮手趕去一頭蒼蠅。

然後，蒼蠅從棕黃色的菠蘿上飛起來飛進陽光中，飛過去，彷彿消失了。也許，牠會在灰白的鹹魚身上發現線線微黃的顏色，在種種沒有關連的事物上找到新的連繫。

X

X

X

一杯咖啡，兩隻煎蛋。一個早晨。

蒼蠅飛過來，飛到繼伏在地上的狗的頭上。狗的爪抵着張長板凳，板凳上有個婦人豎起膝頭呆呆地坐着。幾個小孩子從後面走過去。

那邊，建屋的工人又再開工，村長也在那裏，他們在未成形的屋的骨骼中蠕動，給予它一個完整的形貌。

咖啡和煎蛋的顏色是協調的，他們這幾天所見的顏色中都有這種線索。這二個人這樣想，他們吃過早餐，沿大路走下去。

X

X

X

他們出發時，是打算走到遠遠的山上的那所寺廟去。他們大概曉得它是在那個方向，便開始走了。路旁一直有路碑，讓他們知道走了多少路。當他們以為再也不會有人家的時候，然後才來到第一個村落。那是大同小異的地方，跟他們來的地方沒有甚麼分別，也許是狗少一點，蒼蠅多一點。至於孩子們？當他們走過時，有兩個坐在沙堆中遊戲的孩子衝着他們怪笑。這裏也許是同樣有供應早餐的雜貨店，同樣有一個村長在那些正在興建的屋子中走來走去。

他們走上山坡，把另一個小村拋在背後。但不，這還不是他們要去的那座山，差得遠呢，他們說。山腰立即回聲般傳來另一聲呼喊。是那些夾在樹叢間的屋子裏的人嗎？他們在說甚麼，是跟那下面的人說話？是向這上邊的人挑釁？還是一聲友好的招呼？

而因為他們還有許多路要走，而且不久又轉過另一個彎角，所以根本也無暇去想及這些事情。而他們自有他們自娛的方法，比方看見「八又二分之一」的路碑便發出會心的微笑，而且誇大着已經走了多少路來自我陶醉一番啦等等。

X

X

X

有幾個工人攀在沿山搭起的棚架上工作，一輛貨車載滿石頭駛過去。然後，當他們走近時，發覺踏下去的地面出奇地柔軟，低頭看時：地面是一層棕黃色的泥粉，人們走過時，會比走過別

處留下更深的足跡。但也許因為沒有甚麼人選擇這條路，所以他們留下的足印看來特別深，特別顯眼，在這棕黃色、好像加了太多牛奶的咖啡般的泥地上。

×

×

×

在水塘旁邊的橋上，他們看着左邊的小村落，那些整齊的宿舍，似乎還有一羣穿藍色制服的人在做體操。

「我有一年夏天來這裏參加夏令營。」

「做些甚麼？」

「種樹。」

「難怪這裏的樹木那麼難看了。」

一輛公共汽車從橋上駛過去。他們回過頭，看着它向前面那座山駛去，那就是他們過一會將要走的路了，他們注意地看着它走，看着它駛上山去，有時被樹叢遮掩了。然後，再過一會，看見它在橫過半山，露出來，隱沒了，再出現，一直走到盡頭再轉到山後，他們再也看不見它。

「嘩！」

他們覺得還有很遠的路要走，但他們不曉得，面前的這座山，還不是那座寺廟的所在，還不是他們要找的山呢。幸而他們還不疲倦，他們充滿信心。

在這橋的右邊，是那個水塘。有些樹木露出水面，大概因為塘裏的水位低了，所以也可以看得見那些青蔥的樹木底下的乾涸的泥層，裸露在陽光之下。

太陽已經逐漸猛烈，他們再舉步前行。上山的斜坡上有一個寫着「公廁」的路牌，指向一座只搭着竹棚還未建成的小屋。另一個路牌指示一個海灘，他們本可在那時選另一條路的。在路牌下有個孩子擺賣菠蘿。切開的菠蘿是清清的淺黃色，是一張火警訊號的黃色，陽光的黃色。

沿着樹蔭走是清涼的，走過那列樹蔭後，你就得直接面對陽光。沒有地方可供你躲避。這是一條狹窄的路，不能同時容兩輛車駛上駛下，所以路旁每隔不遠便有一塊小小的避車處，一輛汽車的司機看見前頭不遠有另一輛汽車迎面駛來時，便把自己的車駛到路旁的避車處停下來等候，迎面那輛汽車的司機駛過時便會舉手打一個招呼。但你與陽光之間是沒有一個避車處的。

那些山石也同樣直接地面對陽光。它們看來那麼赤裸，沒有了其他多餘的粉飾，沒有了討人歡喜的東西，只有最實實在在的。它們的樣子就是這樣，粗糙、簡陋、嶙峋。但它們叫人感到健康，沒有一絲忸怩，沒有一點病態，沒有一份自傲。當你像它們一樣接觸陽光，你會發覺「陽光」不是一個浪漫的名詞，而是像許多實在的東西一樣，會叫人快樂也會叫人不安。